

組み込み用小型 RDB エンジンの作成

— T-Engine をターゲットにした超小型 DBMS —

開発者: 荒屋敷 明文

携帯端末の普及や電化製品の IT 化に伴い、様々な組み込み機器にデータベースが実装され、種々のアプリケーションからデータベースが利用できるようになってきている。

今後一層ユビキタス環境が整ってくるにしたがって、小型データベースへの要望は更に強くなってくると思われる。

本プロジェクトでは、組み込み用途のデータベースであることを考慮して、可能な限り小型で汎用性のあるデータベースマネジメントシステムを開発することを目的とする。

- 小型化のためデータベースの機能を限定する。
 - ・データ入出力(挿入・削除・更新・選択)
 - ・データ保護・バックアップ機能
 - ・データ障害復旧機能
- 当初は T-Engine (T-Kernel) をターゲットとする。
- 常駐サイズ 100KB 以下を目標とする。
- Open Source かつ GPL とし、世の中の開発者に提供する。

また、ソフトウェア構造を階層化し、OS 依存部 (システムコール) を包み込むことにより、将来的な他 OS (組み込み Linux 等) への移植が容易になるよう構成とした。(他 OS への移植は現在検討中)

